

# 北三に部活動指導員を導入したらどうなる？

荒木順正（兵庫県立北摂三田高等学校）

## 研究動機

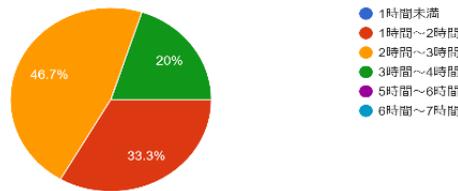
- ・報道で教員の長時間労働が問題になっている
- 教員の自殺や志望者数の低下など
- このような現状が続くと教育の質の低下や学びの機会の喪失につながるのでは？
- どのようにしたら労働時間が減るのか気になった。
- 今回は兵庫県立北摂三田高等学校に焦点を当てて研究を行う

## 先行研究

時間外合計	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	3時間27分	3時間14分	3時間22分
土曜	4時間50分	2時間53分	2時間07分
日曜	3時間12分	2時間04分	1時間39分
4週	101時間00分	84時間39分	82時間17分
1か月	108時間13分	90時間42分	88時間09分

→部活動の顧問の校内での時間外労働は月 100 時間を超えている

平日の時間外勤務の平均時間を教えてください（校内）  
15 件の回答



→平日の時間外労働の時間は 2 時間以上と答えた人は 66%以上もいる  
また、国が示す過労死ライン（月 80 時間）を超える人が 3 割もいた  
部活動に原因があるのではないかと

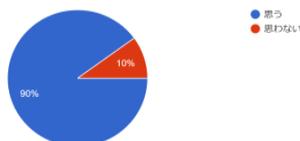
∴部活動での新しい制度（部活動指導員）に着目して北三の教員の部活動の業務を減らしていく研究を行う

## 研究内容

1. 北三の教員にアンケートの実施
2. 北三に部活動指導員を導入することは可能かの吟味
3. 北三の教員の労働時間はどれほど減らすことができるのか

## 研究結果

(4) 北三に部活動指導員を導入するべきだと思いますか？  
10 件の回答



→北三の教員の9割の方が北三への部活動指導員の導入に賛成

- ・部活動による仕事の増加が激しい
- ・ほとんどどの先生が専門知識を持たず、独学で学ばれ指導されており先生方の負担を減らす必要があると考えるから

北三に部活指導員を導入することは可能なのか？

疑問点 実際

- ① 部活動指導員を雇う予 ①実際に22年度に13億円もの算はどうするのか 予算が国で組み込まれた
- ② 信頼のおける部活動 ②自治体が条件を課している指導員を探せるのか
- ③ 教育委員会などが雇うことで責任の所在 責任の所在が明らかになる  
どれくらい北三の教員の時間外労働を減らせるのか？

	野球部	バスケ部	テニス部
平日	2時間	2時間	2時間
休日	4時間	2時間	4時間半
月	56時間	48時間	58時間

月に50時間近くもの時間外労働の削減ができる

→部活動に出ていた分できなかった授業準備や生徒の指導の時間にあてられる

## まとめ・考察

研究結果から北三に部活動指導員を導入すべきだと思う。

また、授業の準備や自己研鑽ができるため教育の質の向上も期待できる。確かに導入するためには学校での制度も必要になってくる。

課題点

- ① 部活動指導員の不足
- ② 信頼のおける部活動指導員を探すための資格や制度の設備

## 参考文献

全日本教職員組合「教職員勤務実態調査2022」勤務実態調査最終報告①.pdf (zenkyo.jp)